
週休２日達成に向けた取組の 好事例集（第二版）

国 土 交 通 省

目 次

I. 住宅・不動産事業分野.....	1
1. 市街地再開発事業（完成済）.....	2
2. 市街地再開発事業・分譲住宅建設工事（完成済）★.....	4
3. 市街地再開発事業（完成済）★.....	6
4. 商業施設建設工事（完成済）.....	8
5. 商業施設建設工事（施工中）★.....	10
6. 高層マンション建設工事（完成済）★.....	12
7. 高層マンション建設工事（施工中）★.....	14
8. 高層マンション建設工事（施工中）★.....	16
9. 分譲住宅建設工事（完成済）.....	18
10. 分譲住宅建設工事（完成済）.....	20
11. 分譲住宅建設工事（完成済）.....	22
12. 分譲住宅建設工事（完成済）★.....	24
13. 分譲住宅建設工事（完成済）★.....	26
14. 分譲住宅建設工事（完成済）★.....	28
15. 分譲住宅建設工事（完成済）★.....	30
16. 分譲住宅建設工事（施工中）★.....	32
17. 分譲住宅建設工事（施工中）★.....	34
18. 分譲住宅建設工事（施工中）★.....	36
19. 分譲住宅建設工事（施工中）★.....	38
20. 宅地造成工事（施工中）★.....	40
21. 管理棟建替工事（完成済）.....	42
22. ショッピングモール造成工事（完成済）.....	44
II. 鉄道事業分野.....	47
1. 駅舎リニューアル工事（完成済）★.....	48
2. ホーム築造工事（施工中）★.....	50
3. 電柱基礎工事（完成済）★.....	52
4. 高架橋新設工事（施工中）★.....	54
5. 高架橋修繕工事（完成済）.....	56
6. 橋梁塗装工事（完成済）.....	58
7. こ線橋新設工事（完成済）★.....	60
8. こ線橋新設工事（完成済）★.....	62
9. こ線橋新設工事（完成済）★.....	64
10. こ線橋新設他工事（完成済）.....	66

11. こ線橋新設工事（施工中）★	68
12. こ道橋新設工事（施工中）★	70
13. こ線人道橋新設工事（施工中）★	72
14. 道路橋補修工事（施工中）★	74
15. 道床更換工事（完成済）★	76
16. 進入防止柵設置工事（完成済）.....	78
17. 侵入防止柵改修工事（施工中）★	80
18. 法面整備工事（完成済）.....	82
19. 法面改修工事（完成済）.....	84
20. 落石防止網新設工事（完成済）.....	86
21. 防風壁設置工事（完成済）★	88
22. 工業用水道管新設工事（完成済）★	90
III. 電力事業分野	93
1. 発電所施設用地造成工事（完成済）★	94
2. 原子力発電所立坑掘削工事（完成済）★	96
3. タンク基礎他設置工事（施工中）★	98
4. 発電所排水処理装置修繕工事（完成済）.....	100
5. 鉄塔工事（施工中）.....	102
6. 鉄塔工事（施工中）★	104
7. 鉄塔工事（施工中）★	106
8. 送電施設新設工事（完成済）★	108
9. 送電施設改良工事（完成済）★	110
10. 送電施設改良工事（施工中）★	112
11. 鉄塔建替工事（完成済）★	114
12. 鉄塔建替工事（施工中）★	116
13. 原子力発電所トンネル工事（施工中）★	118
14. 水圧鉄管更新工事（施工中）★	120
15. 火力線新設工事（未着工）★	122
16. タンク基礎他設置工事（施工中）★	123
17. 水力発電所再開発事業（施工中）★	125
18. 水力発電所改造工事（施工中）★	127
19. 変電所外装他修繕工事（完成済）.....	129
20. 発電所系統連系接続工事（施工中）.....	131
21. ダム管理所改修工事（施工中）★	133
22. 寮新館改修工事（完成済）.....	135
23. ロックシェッド設置工事（完成済）★	137
24. 発電所施設除却工事（施工中）★	139

25. 発電所設備撤去工事（施工中）★	141
26. 工事用道路整備工事（施工中）★	143
IV. ガス事業分野	145
1. LNG基地プラント建設工事（完成済）	146
2. 発電用LNG設備設置工事（完成済）	148
3. 製造設備増設工事（完成済）☆	150
4. ガス製造プラント改修工事（施工中）★	151
5. 幹線建設工事（完成済）	152
6. 幹線建設工事（完成済）☆	154
7. 幹線建設工事（シールド工事）（完成済）☆	156
8. 幹線建設工事（シールド工事）（施工中）	158
9. 幹線建設工事（シールド工事）（施工中）	160
10. 幹線建設工事（シールド工事）（施工中）	162
11. 幹線建設工事（シールド工事）（施工中）	164
12. 幹線建設工事（施工中）★	166
13. ガスパイプライン築造工事（シールド工事）（施工中）	168
14. ガスパイプライン築造工事（シールド工事）（施工中）	170
15. 配管工事（施工中）☆	172
16. 建屋新設工事（完成済）	174
17. 地上タンク除却工事（完成済）	176
V. 工場分野	179
1. 工場新設工事（完成済）★	180
2. 工場新設工事（完成済）★	181
3. 工場新設工事（完成済）★	183
4. 工場新設工事（施工中）★	185
5. 工場新設工事（施工中）★	186
6. 工場新設工事（施工中）★	188
7. 工場新設工事（施工中）★	190
8. 工場新設工事（施工中）★	192
9. 工場増築工事（完成済）★	194
10. 研究施設新設工事（完成済）★	196
11. 工場設備基礎工事（完成済）★	198
12. 燃料発電施設工事（施工中）★	200
VI. 病院分野	203
1. 病院新設工事（施工中）★	204

2. 病院新設工事（施工中）★	206
3. 病院増改修工事（施工中）★	208
4. 病院建替工事（施工中）★	210
5. 病院移転工事（施工中）★	212

注） 「施工中」または「完成済」：令和2年1月末現在の状況。

「☆」：掲載内容を更新した事例。

「★」：第二版に新たに追加した事例。

V. 工場分野

1. 工場新設工事（完成済）★

工事概要			
発注者	〇〇会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約 23 億円		工期：約 442 日
工事内容	区分：新設 施設用途：工場 諸元等： ・S造・地上2階・地下なし 条件等： ・地盤条件：杭工事なし(直接基礎) ・周辺環境：近隣家屋有り ・引き渡し：2019 年 12 月 27 日 施工体制： ・元請 現場技術者 専任7人、現場事務従事者 2人、その他 2人 ・一次下請 43 社、		

取組目標

★ 現場閉所 4週6閉所 ★ 現場作業従事者 4週6休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・受注者は、発注時に要求された工期において現場を4週6閉所としても工期内に施工できると判断し、受注後4週6閉所の実施工程を起案・説明を行い、発注者の理解を得た上で、施工に至った。

□ 目標対象者の範囲

・現場を閉所とすることにより、元請職員の4週6休以上の確保に努めた。協力会社作業員においても、同様の休みを取得できるように配慮した。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 受注者側の取組

○4週6休の取組み

・第二・第四の土曜日を現場閉所とした実施工程の検討を行い、安全衛生協議会等を通じて協力会社に理解を求めて実施した。

・夏期休暇、年末年始月は土曜日の閉所ではなく、連続休暇を含めて6閉所以上とした。

■ 取組をおこなって良かった点

・閉所日を利用してプロジェクト関係者の中で希望者を募り、ゴルフコンペ等の懇親会を開催することで、職員及び協力会社とのコミュニケーション向上が図れた。

■ 留意すべき課題等

・発注者側に予め理解をいただしておく必要がある。発注者は、早く引き渡しして欲しいと考えている。

・協力会社の中には、閉所に反対する声もあり、理解が得られるようにする必要がある。

Key Word: 4週6休

2. 工場新設工事（完成済）★

工事概要

発注者	〇〇会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約7億円 工期：約392日		
工事内容	区分：新設 施設用途：工場 諸元等： ・S造・地上2階 ・建築面積：1,183.88 m ² 、延面積：2,079.36 m ² 条件等： ・地盤条件：標準地盤（支持層：GL-27m） ・周辺環境：同一敷地内で、他ゼネコンも近接作業している。 ・引き渡し：2020年12月25日 施工体制： ・下請け階層：三次、一次下請 33社		

取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・受注者側で、日曜日は全休、土曜日は1日/月の休日を設定した工程表を作成し、大型連休も含めた4週8閉所(104日閉所)を目標として設定した。

□ 目標対象者の範囲

・元請・下請を問わず、すべての社員、現場作業従事者を対象としている。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

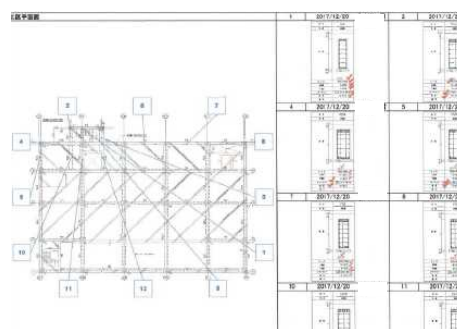
□ 受注者側の取組

○ITツールの活用

・配筋検査には、タブレット端末を使用した。

・タブレット端末に図面も保存することにより、スマートな検査、写真撮影を行うことができた。

・タブレット端末にインストールされている検査ツール(検タス)は、検査帳票、配筋写真整理が自動で作成できるため、書類整理の時間短縮に繋がった。



タブレット端末を用いた検査状況(例)と検査帳票(サンプル)

○閉所予定カレンダーの活用

- ・システム上で閉所予定日を着工時に設定し、工期全体で4週8閉所相当となるように休日設定を行った。
- ・閉所できない日も発生したが、工期全体での閉所の割合をすぐに確認できるため、閉所設定を追加で行うようにし、4週8閉所を達成することができた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
閉所予定日数	5	8	6	5	13	17	13
閉所実施日数	5	8	6	5	12	18	14
累積閉所実施日数	5	13	19	24	36	54	68
閉所率	17%	21%	21%	20%	24%	30%	32%

※閉所率 = (累積閉所実施日数 / 当該月末までの全日数) × 100

閉所予定と実施状況(閉所率)

■ 取組をおこなって良かった点

- ・閉所予定カレンダーにより、閉所予定日が確認できるため、長期休暇等の予定も立てやすくなった。

■ 留意すべき課題等

- ・4週8閉所を目標として工程管理を行ってきたが、現場作業従事者は土曜日閉所としても他現場へ移動し作業を行っている場合もあった。
- ・現場作業従事者の移動を考えると、土曜日も作業を行うべきではないかとも感じるため、建設業全体でのさらなる取組みが必要であり、期待する。

Key Word: ITツール、閉所予定カレンダー

3. 工場新設工事（完成済）★

工事概要

発注者	〇〇会社	受注者	戸田建設(株)
工事規模	契約額：約 36 億円 工期：約 356 日		
工事内容	区分：新設 施設用途：工場 諸元等： ・S造・地上4階 ・延床面積：16,199.94m² 条件等： ・周辺環境： 施主工場敷地内で南北に既設工場が隣接しているため、西側と東側から施工。東側は市道に面していたため工事用出入口を設置し、西側は工場の正門からの出入りとした。そのため、工事車両入退場時間の制限がある中での施工となった。 ・引き渡し： 2019 年 4 月 15 日 施工体制： ・下請け階層：四次、一次下請 63社		



取組目標

★ 現場閉所 4週6閉所 ★ 現場作業従事者 4週6休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・発注者から提示された工期は短工期であり当初4週4休を想定していたが、受注者は会社として働き方改革に取り組んでおり、フレックスタイム制も導入していたことから、工業化工法の採用等、施工方法や工事工程の検討を行った。

・その結果、4週6休を目標設定するとともに、さらにICTの活用により現場のフレックスタイム化にチャレンジすることとした。

□ 目標対象者の範囲

・元請・下請を問わず、すべての現場従事者（現場技術者 7 人及び作業従事者（平均 100 人/日）を対象とした。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

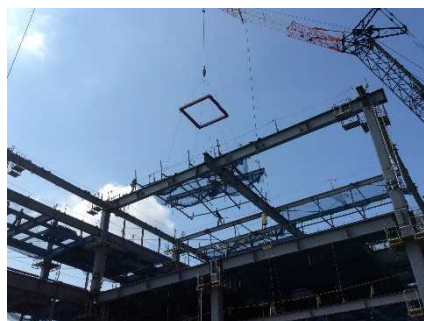
□ 受注者側の取組

○協力会社との4週6休の合意

・4週6休の工程表を作成して協力会社と工事着工前打合せや災害防止協議会等で協議し、協力会社の合意を得た上で、4週6休を実行した。

○工業化工法の採用

・基礎工事において鉄筋先組、ラス型枠の採用、地上鉄骨工事においてはブドウ棚・外壁胴縁の地組・ユニット化工法により躯体工事工程の短縮を図り、4週6休に繋がった。また、モルタル充填式鉄骨階段の採用等も行った。



鉄骨ブドウ棚ユニット

- ・基礎鉄筋を地組して配筋することにより7日程度、基礎型枠をラス型枠にすることにより10日程度、さらに鉄骨ブドウ棚・胴縁をユニット化施工により10日程度の短縮となっている。

Buildee



Buildee での打合せ



フレックス朝礼で説明動画を見ている状況

○ICTの活用

- ・Buildee を活用し、作業日誌作成や揚重・搬入予定の調整にかかる作業調整会議時間を大幅に短縮した。Buildee の活用と朝礼のフレックス化で社員 16.5 時間/月、職長 12.5 時間/月の短縮となっている。
- ・大型モニターを使って朝礼のフレックスタイム化を実施し、現場作業所の働き方改革を推進するとともに、協力会社の自主性向上に寄与した。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・Buildee を活用することにより、作業日誌をデジタル化し、社員・協力会社担当者及び職長がいつでもどこからでも入力・確認することができ、また打合せ用配置計画図も WEB 上で作成・確認することができる。このため、事前に入力した内容で打合せすることができるため、会議時間の短縮に繋がった。
- ・また配置計画の説明動画を前日に撮影し、翌日の朝礼に大型モニターで一定時間繰り返し流すことにより、朝礼のフレックスタイム化を図り、社員のフレックスタイムの活用が可能になった。
- ・さらに協力会社の自主性・積極性が向上し、自己発働型職長・自己発働型作業員への意識改革に繋がったと思われる。
- ・このことにより社員・職長の作業効率が向上し、4週6休に寄与し、さらに平日の残業時間も削減できた。

■ 留意すべき課題等

- ・労務不足による工程遅延が発生すると、予定していた閉所が行えなくなってしまう。
- ・土曜閉所は、元請社員は休めるが、協力会社は土曜閉所していない他の現場作業所に行ってしまうため、関係者全員の土曜休日は実行できなかった。
- ・施主工場内での工事のため既存工場と取り合う部分の工事については、施主といろいろ協議したが施主従業員の安全確保と生産の妨げを防ぐために工場の休日にしか工事ができなく土日作業する時もあった。

Key Word: 協力会社との合意、工業化工法、ICT

4. 工場新設工事 (完成済) ★

工事概要			
発注者	〇〇会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約 12 億円		工期：約 300 日
工事内容	区分：新設 施設用途：機械製作工場 諸元等： ・S造・地上 2 階・地下 0 階、1 棟 条件等： ・地盤条件：標準地盤(支持層:GL-1.9m)。独立基礎 ・周辺環境：工場敷地内の中心部。搬入通路の構内ルール規制あり ・引き渡し:2019 年 10 月 31 日 施工体制： ・元請 現場管理責任者 専任1人、現場作業従事者 3 人、その他 1 人非常駐事務 ・下請け階層:二次、一次下請 20 社、二次下請 30 社(総下請社総数 50 社ほど)		

取組目標

★ 現場閉所 4週6閉所 ★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・受注時目標としては、4週6閉所で取り組み、施工手順や工程の再検討結果から、工期全体で4週8閉所を達成可能と判断し、目標を再設定した。

□ 目標対象者の範囲

・元請・下請を問わず、すべての配置技術者及び現場従事者(平均 60 人/日)を対象とした。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○工期について

・受注時の段階から打合せにより、適正な工期の確保を実施した。

○搬入車両ルートの確保

・工事車両専用の出入り口及び構内ルートを確認し、車両の交錯の防止や渋滞による搬入遅延の防止を実施した。

□ 受注者側の取組

○週休2日の導入

・年間の休日カレンダーの作成、毎月ごとの勤務計画書の作成を実施し、工程の進捗状況を加味して月間工程に反映した。

・日々の打合せの中で、進捗状況を確認し、作業遅れが内容先手をうった指示を行い、労務の確保、資材の調達を実施し、休みを増やした。

○効率的な施工方法の採用

・基礎型枠を在来型枠の計画からラス型枠に変更し、少人化を実施し、工程の短縮に努めた。

・施工手順の洗い出しを行い、作業区画を分離し、次工程を先行して施工させることにより

労務・工程を平坦化した。

- ・低層部の足場を取止め、無足場構法にて施工。工程の短縮を実施した。

○ITツール

- ・配筋検査システムの採用により、効率化のアップを図った。
- ・i-PAD のITツールを使用したタイムリーな作業指示を実施し、情報を共有することにより、手戻りの防止に努めた。



ラス型枠の採用



ITツールの採用

ラス型枠の採用、ITツールの採用

■ 取組をおこなって良かった点

- ・休みとして計画することにより、メリハリのある日々の工程管理ができた。
- ・資格取得のための勉強や趣味の時間をとれるようになった。

■ 留意すべき課題等

- ・発注者及び設計事務所の理解をいただき、適正な工期で受注される必要がある。
- ・仕上等の決定を順調に決定していただき、手戻りにつながらないように管理していく必要がある。
- ・月間・週間工程の日々の精査を実施。工事の進捗状況を確認し迅速な手配を行う必要がある。

Key Word: 適正工期、搬入車両ルート確保、効率的な施工方法、ITツール

5. 工場新設工事（施工中）★

工事概要

発注者	〇〇会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約 88 億円 工期：約 450 日		
工事内容	区分：新設 施設用途：工場、事務所、食堂、ホールおよび付属棟 諸元等： ・S造地上2F 1棟 ・S造地上6F 免震構造 1棟 ・S造地上3F 1棟 条件等： ・土地区画整理地業内での工事のため、道路工事等の役所との調整あり。 ・近隣生活道路渋滞を緩和するため、一部使用禁止道路あり。 施工体制：（2020年1月現在） ・元請 現場技術者 専任 20人、現場作業従事者 130人（1日平均） ・一次下請 43社、二次下請 64社（総下請社総数 416社）		

取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・受注者は、働き方改革を考慮して、受注時から4週8閉所に取り組めるよう計画をした。また発注者に対してプレゼンで工期を含めた提案したため、ある程度、工程を確保できた。

□ 目標対象者の範囲

・元請・下請を問わず、すべての配置技術者及び現場従事者を対象としている。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 受注者側の取組

○変則4週8閉所

・変則の4週8閉所とし、GWや夏期等の大型連休を含め、月平均で8閉所を確保するようにした。

・休日管理表を作成し取得できるよう作業の調整を行っている。また、当社の TPM を活用することにより、生コンの打設、工事打合せ、災害防止協議会などの省力化を図っている。

■ 取組をおこなって良かった点

・休暇が多くなり家族サービス、リフレッシュが出来るようになった。

■ 留意すべき課題等

・発注者への説明が不可欠であり、工期が伸びることを理解してもらう必要がある。

・休暇が取得できるようにするために、十分な現場作業員や職員を確保する必要がある。

・天候やトラブルへの対応で休日を返上しなくても良いように、工期延長ができる環境があればよい。

Key Word: 変則4週8閉所

6. 工場新設工事（施工中）★

工事概要			
発注者	〇〇会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約 38 億円		工期：約 870 日
工事内容	区分：新設 施設用途：工場 諸元等： ・S造・地上 4 階 合計 4 棟 ・建築面積：2,392.26 m ² 、延面積：6,796.84 m ² ・旧工場解体 1 棟 条件等： ・地盤条件：標準地盤（支持層：GL-8.5m） ・周辺環境：既存工場に囲まれた敷地での新棟建設工事であり、既存工場運営と密接な状況である。既存工場への通勤車両により、朝夕は混雑する。近隣からは多少離れており、騒音・振動の影響は少ないと思われる。 ・引き渡し：2020 年 6 月 30 日（仮使用） 施工体制： ・下請け階層：三次、一次下請 64 社		

取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・受注者は、着工当初に、日曜日と隔週土曜日を休日として設定し、総合工程表を作成した上で、大型連休を含めた4週8閉所相当（104 日）が達成可能と判断し、目標として設定した。

□ 目標対象者の範囲

・元請・下請を問わず、すべての社員・現場作業従事者を対象としている。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 受注者側の取組

○閉所予定日の設定

・閉所予定カレンダーを着工時に作成し、日曜日は全休、土曜日は隔週休日と設定し、全体で 104 日閉所目標を設定し、工程管理を進めている。



閉所カレンダーの例

・社員は、4週8休となるよう、業務調整を行い、振替休日を取得する等により目標を達成している。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・（施工中のため、特になし。）

■ 留意すべき課題等

- ・着工当初は4週8閉所を目標としていたが、台風の影響もあり、工程を少しでも回復させるために4週4閉所とならざるを得なくなった。
- ・受注者から台風の影響による工期延伸の申請を行い、発注者に承諾をいただいたが、今後は台風による影響も多くなることが予想されるため、自然災害に対する対応を取り決めておくことも重要である。
- ・台風の影響により鉄骨納期がずれ込んだ影響により、躯体工事が冬季になってしまうが、寒冷地のため施工が困難となり、工程を取り戻すことが困難となった。このため、工期延伸の打合せを行い、発注者から了解をいただいた。

Key Word: 閉所予定カレンダー

7. 工場新設工事（施工中）★

工事概要

発注者	〇〇会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約 26 億円 工期：約 636 日		
工事内容	区分：新設 施設用途：工場、事務所 諸元等： ・S造・地上 3 階 ・建築面積：3,903.47 m ² 、延面積：9,528.35 m ² 条件等： ・地盤条件：標準地盤 ・周辺環境：新築から既設建屋の解体後外構工事まで工事ステップによって客先動線の盛替え等、客先と時期や経路の調整が必要である。 ・引き渡し：2020 年 5 月 19 日 施工体制： ・下請け階層：三次、一次下請 58 社		

取組目標

★ 現場閉所 4週7閉所 ★ 現場作業従事者 4週7休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・受注者は、着工当時4週6閉所としていたが、工事工程を再検討し、4週7閉所の達成が可能と判断し、目標設定を行った。

□ 目標対象者の範囲

・元請・下請を問わず、すべての社員、現場作業従事者を対象としている。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 受注者側の取組

○閉所予定カレンダーの作成

・4週7閉所を達成するべく、着工時に閉所予定カレンダーを作成し、周知を行った。



【凡例】

閉所予定日 閉所実施日（閉所予定あり） 閉所実施日（閉所予定なし） 閉所予定日だったが未実施

閉所カレンダーの例

・閉所予定カレンダーを軸に、閉所を考慮した工程管理、作業調整を実施している。

○配筋検査システム(検タス)の活用

- ・タブレット端末を利用し、配筋検査を実施している。



タブレット端末を用いた検査状況(例)

- ・タブレット端末には検査専用アプリ(検タス)がインストールされており、図面を持ち歩く必要がなく確実な検査ができ、検査後は自動的に検査帳票、配筋写真の整理ができるため、書類作成の時間削減にも繋がっている。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・4週6閉所からのスタートであったが、現場所長の強い想いで、4週7閉所の実現に向けて現場所員、現場作業従事者のモチベーションも上がり、良好な現場運営を行えている。

■ 留意すべき課題等

- ・当工事現場では土曜日を休日としても、現場作業従事者は他現場で作業を行うこともある。
- ・建設業全体で4週8閉所の取組に温度差があるため、全体で意識改革を進めていく必要がある。

Key Word: 閉所予定カレンダー、タブレット端末、配筋検査システム

8. 工場新設工事（施工中）★

工事概要

発注者	〇〇会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約10億円 工期：約341日		
工事内容	区分：新設 施設用途：工場 諸元等： ・S造 地上2階 ・建築面積：1,636m ² 、延面積：3,139m ² 条件等： ・地盤条件：標準地盤（支持層：GL-4.5m） ・周辺環境：既存工場敷地内での建設工事。工場お客様とは入場ゲートが分けられている。 ・引き渡し：2020年3月15日 施工体制： ・下請け階層：三次、一次下請 40社		

取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・受注者側で、総合工程表を作成した上で、4週8閉所が達成可能と判断し、目標として設定した。

□ 目標対象者の範囲

・元請・下請を問わず、全ての社員・作業員を対象としている。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 受注者側の取組

○閉所計画の策定

・前後期休暇計画を策定し、4週6閉所＋祝日完全消化を目標に、工程、施工計画の検討を進めた。

・土曜日にも閉所可能となるべく、全員で検討を行い、完全週休2日を継続している。



閉所予定カレンダー（運用状況）

○工事工程の前倒し

- ・工程計画、作業計画を都度見直し、改善を行い、各種工事の工程を前倒しで推進した。
- ・工程を少し前倒しにすることにより、工事に多少の余裕を発生させていき、不測の事態が発生した場合でも閉所日を変更することなく、対応が可能となっている。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・完全週休2日を継続しているため、現場従事者の休日の予定が立てやすくなっている。
- ・また、現場従事者の心の余裕も発生し、確実な施工管理につながっている。

■ 留意すべき課題等

- ・完全週休2日制とした場合、日給制の作業従事者においては収入が減ることになるため、他の現場で従事することが考えられる。賃金の見直し、月給制への変更、建設業全体での週休二日制の浸透が必要である。

Key Word: 閉所計画、工事工程の前倒し

9. 工場新設工事（施工中）★

工事概要

発注者	〇〇会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約 27 億円 工期：約 360 日		
工事内容	区分：新設 施設用途：金属製品加工工場 諸元等： ・S造・地上2階・地下0階／1棟、杭基礎構造 ・敷地面積：30,994 m ² 、建築面積：15,667 m ² 、延床面積：17,862 m ² 条件等： ・地盤条件：標準地盤、地下水位GL-3.5 m、支持層：GL-17 m ・周辺環境：工業地域、北・南・西の3面接道、北・南に搬入口、作業・搬入等の規制なし。 ・引渡し：2020年5月29日 施工体制： ・元請：現場技術者 専任4名、事務系3名 ・一次下請け 42社		

取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・工事着工前に発注者と協議の上、発注者の要求納期と照し合せても、達成可能との判断から、4週8閉所での工期設定とした。本プロジェクトは既設敷地内の建設ではなく、単独敷地での建設だったため、既設取合い作業がなく、土日にか実施できない作業もなかったため、4週8閉所の設定が比較的容易だった。

□ 目標対象者の範囲

・作業所は完全8閉所。
 ・休日対象について、元請従業員は全員、下請け業者については当現場との契約は4週8休を前提としたが、当現場外での就業については任意とした。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○事前説明によって、上層部まで早期から理解して頂いたことで、一丸となって4週8閉所に取り組むことができた。定例会議・打合せ等でプロモーションテーブルを提示することで、図面承認や製作物の手配についても遅延なく進めることができた。

□ 受注者側の取組

○4週8閉所を前提とした工期設定・下請業者との契約

・工期設定をする上で、4週8閉所をスケジュールに盛り込み、下請け業者との契約時には4週8閉所を前提条件として契約を結んだ。
 ・各工事の歩掛りを向上させるための工業化や機械化を早期に施工計画に盛り込み、下請業者を早期に決定・参画させ、施工性を向上させることで4週8閉所をお互いに合意のもとで進めることができた。

○工法の見直し

・フロントローディングとして、着工前の段階で設計者と密に打合せを行い、土間杭を中止し、地盤改良とすることで、初期段階で工期の短縮を図った。

○ITツールの活用

- ・タブレット端末を利用した検査システムによる業務の効率化
- ・ドローンを利用した、現場の進捗管理
- ・音声付きのパワーポイントを活用することで、新規受入れに要する労務を削減できた。



ITツールの活用

文字音声変換ソフト(Balabolka:フリーソフト)を新規受入れのパワーポイント作成に活用した。人の声による入力に比べ、現場状況に応じてタイムリーな対応と、編集に要する時間の大幅な短縮とにつながった。

○他現場との交流・好事例の取り込み

- ・当社の他現場との交流の場を設け、各現場で取り組んでいる好事例を参考にし、当現場で採用可能なものを積極的に採用した。
- ・例えば、サーモカメラについては、溶接温度管理・熱中症対策・凍結対策・分電盤のチェック等に活用した。

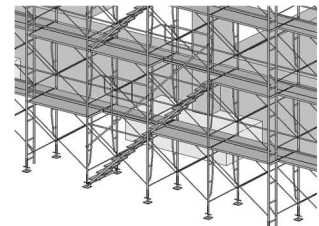


サーモカメラの活用

- ・スケッチによる若手の教育・指導の好事例を参考に、当現場でも個人のスキルアップを図り、各自が円滑に効率よく現場業務を進めていけるよう、上職からの教育・指導を行った。

○足場作図へのBIM活用

- ・Revit のハンズオン勉強会を支店の支援で実施し、若手係員が自ら3Dでの作図ができるようにスキルアップを図った。BIMを用いることで作図効率は格段にあがり、また数量積算にも一連のデータとして活用できるため、材料の拾い出し・材料発注の業務としても時間短縮が図れた。



BIMの活用

○基礎納まり検討へのBIM活用

- ・支店の支援部署との連携で、基礎配筋と鉄骨アンカーボルトの納まりをBIMで作図することで、早期に鉄筋納まりを施工業者と打合せし、現場での無駄・ロス・手戻り防止に努めた。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・完全8閉所とすることで、プライベートの計画が立て易くなった。
- ・完全週休2日とすることで、心身ともにリフレッシュでき、業務効率も上がった。
- ・特に酷暑日が続く時期は、週に1日の休日では疲労が回復しきれないため、週2日の休日取得は、平日の生産性向上にも繋がった。
- ・1日あたりの作業効率を高める意識が身に付いた作業員が、他現場でも実践することで、相乗効果が生まれた。
- ・平日の生産性向上の意識が高まることで、さらなる工程短縮にも繋がった。

■ 留意すべき課題等

- ・製作物のメーカー納期に関するスケジュールの把握と管理において、発注者・監理者の承認期限を明確にし、厳守する必要がある。
- ・作業日1日あたりの生産性向上について、作業員の本来業務外の労働を軽減する必要がある。軽減方法については元請が主働で取組まなければならない。
- ・設定した完全閉所日については、安易に変更しない強い意志と共通理解が重要になる。
- ・発注者の理解が大前提となる。
- ・建設業界の繁忙期に、労務や製作物の納期が逼迫していると工程管理が困難になる。

Key Word: 下請契約、工法の見直し、ITツール、他現場の好事例の採用、BIM

10. 工場増築工事（完成済）★

工事概要

発注者	〇〇会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約5億円 工期：約320日		
工事内容	区分：新設 施設用途：工場 諸元等： ・S造・地上1階 ・延床面積 1,265 m² 条件等： ・地盤条件：標準地盤（支持層：GL-1.7 m） ・周辺環境：工業団地内 ・引き渡し：2019年10月11日 施工体制： ・元請 現場技術者 専任4人 ・下請け階層：三次、一次下請 36社、二次下請 88社、三次下請 25社 （総下請社総数 149社）		



取組目標

★ 現場閉所 4週6閉所 ★ 現場作業従事者 4週6休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・受注段階で適正工期を確保できたため、4週6閉所（日曜日、第2・4土曜日、長期休暇）が達成可能と判断し、目標設定した。

・適正価格での受注により、必要な人員も確保できたため、社員は4週8休を目標とした。

□ 目標対象者の範囲

・元請の現場技術者 専任4人の全てと、下請（平均 20 人/日）を対象とした。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○受注者取組に積極的に協力

・発注当初、発注者側の取組はなかったが、受注者の様々な取組に配慮し、既存改修の施工日を可能な限り平日へ移行するなど作業所閉所に協力した。

□ 受注者側の取組

○計画的な閉所の実施

・着工時に日曜日、第2・4土曜日に加え、年末年始・GW・お盆を閉所にした工程計画を作成し、計画的に閉所を実施することで工期全体を通じた4週6閉所を実現した。

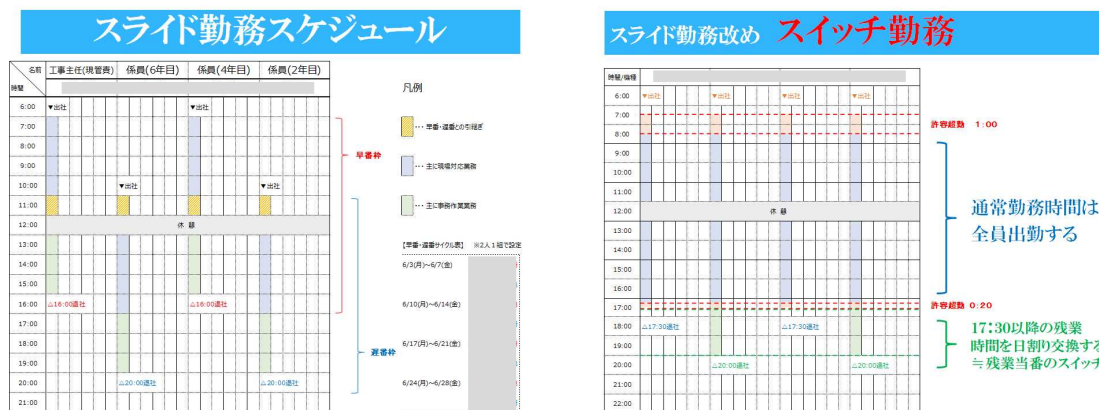
・社員は、勤務計画を作成し、交替勤務を行うことで4週8休を実現した。

○スライド勤務の導入

・社員を2人1組の早番・遅番でサイクル制とし、定時の就業時間をスライドさせることで、現場の早出・残業時間を少ない人数で管理し、拘束時間を削減した。

○スイッチ勤務の導入（スライド勤務実施後に従業員にヒアリングし更に改善した勤務体制）

- ・スライド勤務の改善版で、作業時間後に事務作業等を行う社員を当番制とし、当番は月次管理で指定する。当番以外はノー残業デーとした。



スライド勤務・スイッチ勤務

○朝礼の省時間化

- ・全員集合によるラジオ体操、安全指示や伝達事項を廃止し、作業班ごとにその日に必要な安全指示や伝達事項を配布し、朝礼に要していた時間の短縮を実現。また、それをもとに現地KYを実施した。



朝礼の省時間化、現地KY活動

■ 取組をおこなって良かった点

- ・スライド勤務やスイッチ勤務で早く帰れた分、家族と過ごす時間や自己研鑽等、有意義な時間を増やす事ができた。

■ 留意すべき課題等

- ・週休2日の実現には、発注者の理解が不可欠。適正な工期・価格が確保できて初めて週休2日が達成できる。
- ・元請社員は月給制であるのに対し、現場作業従事者の多くが日給月給制であるため、週休の調整が難しい。現場作業従事者は週休2日の実現が収入減になってしまうので土日祝日を除いた日給の改善が必要。

Key Word: 計画的閉所、スライド勤務、スイッチ勤務、朝礼の省時間化

11. 研究施設新設工事（完成済）★

工事概要			
発注者	〇〇会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：（非公表）		工期：約 730 日
工事内容	区分：新設 施設用途：研究施設 諸元等： ・S造・地上 0 階・地下 4 階・塔屋 1 階 条件等： ・地盤条件：杭支持(既成杭)、根切り深さ GL-2.45m ・周辺環境：第1種、第2種住居地域内、団地に隣接している。 ・新築部分引き渡し：2019 年 3 月 31 日 施工体制： ・元請 建築設備社員 10 名(うち若手 2 名、派遣契約 4 名) ・一次下請 77 社、他二次下請		



取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・受注者側の会社において、「長時間労働の是正に向けた 2024 年までのロードマップ」を公表し、「長時間労働の是正」について具体的な目標が示されている。

・「働き方改革」と「生産性の向上」の実現は、社員及び現場作業員、その家族の生活を豊かにすることに繋がることから、目標を設定した。

□ 目標対象者の範囲

・原則、元請・下請を問わず、すべての現場作業員を対象とした。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 受注者側の取組

○所員・作業員の意識改革

・所員・作業員の意識改革のために「休日新聞」を発行し、個々の休日の楽しみ方を紹介した。

・休日を強調したカレンダーに実施日をシールでマーキングした所員休日予定表を活用し、所員全員の休日を確保した。



「休日新聞」

○各工事の生産性向上(歩掛り向上)

・工事の着手日から作業できる環境をと考え、躯体工事、仕上げ工事、設備工事において資材の「先行搬入」を行った。具体的には、地上階の鉄筋を鉄骨建方時に先行搬入、外壁ECP版、設備機器、内装材をスラブ打設後に先行搬入した。

・鉄骨、外装、内装等の「分科会」を立ち上げ、専門業者と一緒にフローチャートを作成し、完全週休2日で行う事を前提に、その時期に何人で何m²といった「目標歩掛り」を設定し、工程表を作成した。

○所員・職長・異種業者間の連絡調整、工事打合せの効率化

・業者間業務連絡として、作業開始、完了の報告やEV使用完了報告等を「職長会LINE」でタイムリーに伝え、手戻り、手待ちを減らした。

・情報共有として所員と職長とが共通で使用できるICTツールを活用し、打合せの時間を短縮した。“Teams+Onenote”を使った工事打合せ、“ダンドール”を使った搬入車両予定やクレーン、エレベーター使用予定の調整を行った。



「職長会LINE」



ICTツールの活用

■ 取組をおこなって良かった点

・所員は完全週休2日を実現し、心身共に充実し、今後も他現場でも実施して欲しいと考えているほど、満足度が向上している。

■ 留意すべき課題等

・現場作業員は、完全週休2日の現場に常駐していても土曜日・祝日は他現場に行くことが多かったこともあり、実質的に週休2日にはなっていない。また、安定した賃金環境維持のために、土曜・祝日も働きたい現場作業員が多数いる。

・まずは事業主の理解が必要であり、賃金のことを考えると、土曜日や祝日も他現場で作業できるような事前調整が必要となる。

Key Word: 意識改革、生産性向上(目標歩掛り)、ICTツール

12. 工場設備基礎工事 (完成済) ★

工事概要

発注者	〇〇会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約 33 百万円 工期：約 183 日		
工事内容	区分：新設 施設用途：プラント配管架台基礎、消火設備基礎 諸元等： ・コンクリート基礎 B250×L(350～1100)×H350 63 基 B300×L(450～1550)×H400 83 基 B400×L(400～1000)×H350 16 基 その他工場構内道路付属施設 1 式 条件等： ・地盤条件：標準地盤 ・周辺環境：タンク工事、配管工事との調整あり(他社との近接工事)。 狭隘部につき、重機施工不可の箇所あり。 施工体制： ・元請 現場技術者 専任 1 人、現場作業従事者 2 人 ・下請け階層 一次下請 5 社、二次下請 10 社(総下請社総数 15 社)		

取組目標

★ 現場閉所 4週6閉所 ★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・本工事は、プロジェクト終盤の工事であり、また、数社間の工程が複雑に絡み合った箇所であるため、自社の都合だけで工事を進捗させることができず、休工日の設定も困難であった。

・受注者側の会社が制定した『長時間労働是正』に向けた 2024 年度までのロードマップに準じ、本事業所では、同ヤードで施工している他業者と施工方法、施工条件の情報共有を行うことにより、4週6閉所、4週8休が達成可能であると判断し、目標を設定した。

□ 目標対象者の範囲

・元請・下請を問わず、全ての配置技術者及び現場従事者(平均 12 人/日)を対象とした。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○プロジェクトにおける社員の増員

・各所工事エリアに人員を配置することにより、受注者との工事許可等のやりとりが円滑となるように努めた。

○定期の会議等を通じた工程調整

・毎日の調整会議、月間の災害防止協議会に各担当者が出席することにより、作業エリアや構内道路の使用等、各工事区域の連絡調整に努めた。

□ 受注者側の取組

○配管架台基礎プレキャスト化

・配管架台基礎は、タンクヤードの周辺に点在し、支障物もあることから、人力作業が主となる箇所が多く、また、他業種との輻輳作業となっており、細かな作業間調整が必要であつ

た。

- ・そのため、現場作業を低減し、工程短縮を図ることを目的に、基礎をプレキャスト化した。プレキャスト化にあたっては、発注者と協議し、基礎形状を出来る限り統一化することにより、コストの縮減も図った。

○他社との打ち合わせを通じた工程調整

- ・休工日を含め、必要な作業ヤード、構内道路の通行止め等の情報を早期に関係他業者へ提示することにより、工程調整がスムーズに実施されるように心がけた。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・約 80 基の基礎をプレキャスト化することにより、8 日程度の工程短縮効果があった。
- ・狭隘部における施工工数を減らすことにより、工程短縮だけでなく、他業者との工程調整が容易になった。
- ・資機材運搬等の人力作業が減少することにより、作業員の負担軽減に繋がった。
- ・雨天等の天候が工程に及ぼす影響を最小限に抑えることができた。
- ・緊密な工程調整により、工程短縮のための過度な残業、突発的な休日作業をする必要なく工事を進捗することができた。
- ・休工日を明確に設定することにより、自社だけでなく他業者の職員、作業員を含めて、作業効率の改善に繋がる意見交換が活発になった。

■ 留意すべき課題等

- ・工場工事の場合、休日限定作業や設備停止期間限定の整備作業(連続作業)があり、作業所の完全閉所が困難である。週休2日を確保する上でも交代要員が必要となる。
- ・工場地区では、近隣の工場と工事期間が重複する等により、施工者の繁忙度が過度に高くなることもある。当該事業所(元請職員)においては、週休2日を達成できたとしても、専門工事業者の現場作業員は、その休日に他の工場で作業することが考えられる。
- ・プレキャスト製品を現場搬入するには、ある程度の日数が必要となるため、基礎の位置、形状やそれに合わせた施工計画等を早期に決定し調整する必要がある。

Key Word: 定期の会議、プレキャスト化、他社との工程調整

13. 燃料発電施設工事（施工中）★

工事概要

発注者	〇〇会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：（非公表） 工期：（非公表）		
工事内容	区分：新設 施設用途：発電施設 諸元等： ・RC・S造・地上4階 1棟 ・S造2階 1棟 ・大型屋外基礎 約25基 条件等： ・周辺環境：臨海工業地域、一部周辺家屋あり（18時以降の作業制限あり）。 ・建設工事の他に、同時期・同一敷地内での発電機械メーカー（発注者直営）との混在作業あり。 施工体制： ・配員構成 元請 現場監理技術者 専任1人、係員3名		

取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

- ・受注に向けた提案段階において、施工方法の検討、工事竣工までの工程を作成し、発注者に説明し、ご理解をいただいた。
- ・設計監理者、同一敷地内での発注者直営業者を交えて工程を検討し、相互理解と合意形成をもとに進めていった。

□ 目標対象者の範囲

- ・元請である当社および下請けの現場従事者全てを対象としている。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 受注者側の取組

○定例会議、i-Pad、フェイスタイムの活用（同時視聴）

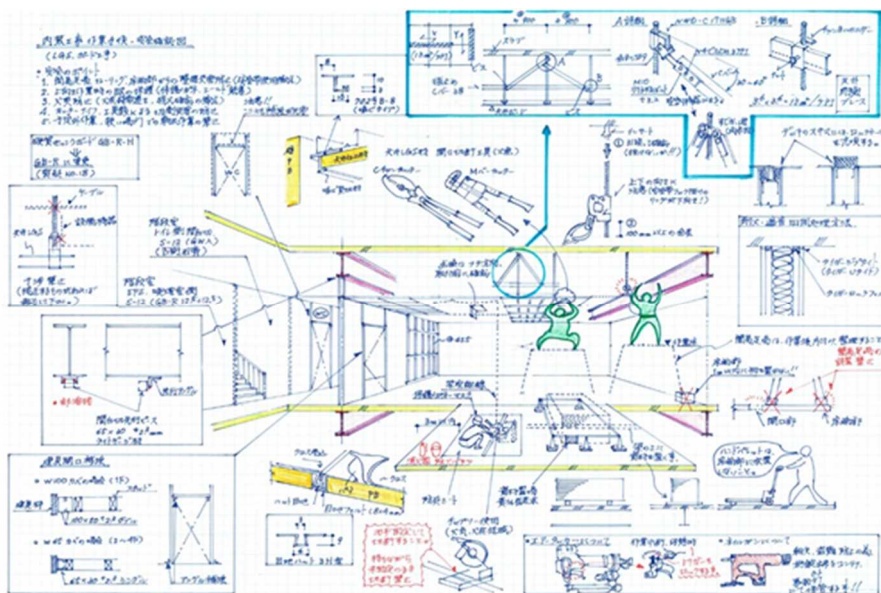
- ・伝達時間、議事録作成時間の短縮効果として、1時間～1.5時間/会議毎の時間削減となっている。



定例会議、i-Pad、フェイスタイムの活用

○スケッチ作業手順書によるルールの周知

- ・危険な作業や複雑な作業から順番に必ずスケッチを作成し、作業する方とのコミュニケーションを図る努力を行っている。数分で確実に伝達と理解ができる。
- ・今は職長でなく、「スケッチと違うけどいいですか？」と確認にくる先端作業員や経験が浅い作業員及び外国人が増えてきたので、成果が上がってきていると考えている。



内装工事作業手順のスケッチ図

○外国人技能実習生とのコミュニケーション

- ・外国人技能実習生とのコミュニケーションは非常に時間が掛かり、相互コミュニケーションが取りにくい。このため、市販のポケットークを用いることにより、相互理解度の確認が短時間に確実に行うことができる。
- ・徐々に成果が出てきているので、今後は機器台数を増やし活性化を進めて行こうと考えている。



ポケットークの活用



サーモグラフィーの活用



○サーモグラフィーの活用

- ・サーモグラフィーを用いることで、現場の残火確認時間を大幅に短縮することができる。また、分電盤の発熱による過電流状況が明確に短時間でチェックすることができる。その他路面凍結や、竣工前の漏水チェックなど、使用用途は多岐にわたる。時間を短縮するには格好の先端機器である。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・上記の他にも数十件、小さな改革改善を進めている。今までの常識を覆し、無駄や過剰な業務の削減により、1日 17%(約 70~80 分)の時間短縮に成功している。このような積み重ねにより4週8閉所が現実となり、家族との予定も組みやすくなっている。

■ 留意すべき課題等

- ・作業所の4週8閉所を行うことで、作業員の労働時間の減少と収入のバランスが今後の懸念事項である。

Key Word: 定例会議、i-Pad、フェイスタイム、ポケットーク、サーモグラフィー

